

<b>学校名</b>	春日部市立豊春小学校
<b>所在地</b>	春日部市道順川戸37番地1
<b>電話</b>	048-754-0726

## 1 本校の概要

本校は、開校から147年目の歴史と伝統ある学校であり、児童数600名、21学級（特別支援学級3学級を含む）の中規模の学校である。

学校教育目標は「みんな友達 豊かな心 あふれる意欲」を掲げ、保護者・地域・中学校と連携し、「つながりを作りながら高め合い、地域に広がる学校」を目指し日々の教育活動に取り組んでいる。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・学校図書館等の環境整備の工夫
- ・図書委員会の活動を通じた取組
- ・公立図書館との連携

### (2) 実践の概要

#### ア 学校図書館等の環境整備の工夫

本校には、3～6年生が利用する高学年図書室、1～2年生が利用する低学年図書室、各学年の廊下に学年の本棚がある。

高学年図書室は、通常の図書室と同様、十進分類法に基づいて資料を収集し、配架している。主な特徴として、

- ・国語の教科書「この本、読もう」で紹介されている本の収集、配架
- ・小学生が選ぶ“こどもの本”総選挙TOP10
- ・春日部市の人気キャラクター「クレヨンしんちゃん」コーナー、埼玉県の人権コーナー
- ・キャリア教育を意識した職業の本コーナー

など、授業で使える資料をそろえながらも、児童が読みたいと思う本にもアンテナを高くし、選書には児童の意見も取り入れている。学習・情報センターとしての役割と読書センターとしての役割の両立を目指し計画的に資料の整備を進めている。



各学年の本棚では、2年生「レオ＝レオニ」「アーノルド＝ローベル」、3年生「斎藤隆介」、4年生「新美南吉」、5年生「椋鳩十」、6年生「宮沢賢治」と物語作品で並行読書をさせたい本と、各学年の発達段階に応じた本が常備され、国語の時間だけでなく朝読書の時間や休み時間などに幅広く活用されている。

### イ 図書委員会の活動を通じた取組

図書委員会では、月～金曜日の業間休み・昼休みの本の貸出し業務に加え、全校児童に読書に親しんでもらうための様々な取組を行っている。

- ・図書委員のオススメ本（低・高学年図書室）
- ・読書月間の取組（クイズ・スタンプラリー）
- ・しおりの作成

普段、図書委員会の児童が低学年図書室で活動することはほとんどない。しかし読書月間では、低学年の児童にスタンプラリーのはんこを押してあげるなどの交流があり、児童も喜んで本を借りにきていた。



### ウ 公立図書館との連携

毎年5年生を対象に、市の司書職員の方を招いてブックトークを行っている。1つのテーマをもとに様々な分類の本が紹介され、普段はあまり読書に興味を示さない児童も、目を輝かせながらブックトークに聞き入っていた。高学年になると、段々好みに偏りが現れるので、これを機に、好きな本以外にも興味の幅が広がっていくことを期待している。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 教職員や学校図書館支援員、図書委員の協力により、児童の図書室利用や貸出し冊数が増えつつある。

イ 私たちの郷土春日部市・埼玉県に関するコーナーを作ることができた。

### (2) 課題

貸し出し冊数は増加しているが、児童が好んで読む本に偏りがある。娯楽要素の強い本に貸し出しが集中する傾向があるので、読む本の質の向上を目指した指導を続けていきたい。